

印西市水泳協会ニュース

第86号 2022年5月1日 発行所：印西市水泳協会 住所：印西市小倉台3-1-17-206
URL：http://www.inzaiswim.org https://www.facebook.com/inzai.swim/
E-mail：inzai_swim@yahoo.co.jp

印西オープン水泳大会再開に向けて



今年の桜は見事に咲いておりました。しかしながら世の中ではコロナ禍も3年目に入り、そろそろ経済活動も正常化させていかなければならない時期に突然戦争が始まり、とても信じられないような事態が生じています。何とか早くこの状態を克服し、平和を取り戻すことを願って止みません。

印西市水泳協会では印西オープン水泳大会を毎年秋に開催していますが、コロナ禍により昨年、一昨年は開催出来ませんでした。代わりに記録会あるいは水泳教室を実施しましたが今年は何とか大会の開催に漕ぎつきたいと思っております。このため水泳を愛される皆様には是非、印西における水泳の火を消さないために、大会開催の準備作業へのご協力をお願いする次第です。



印西オープン水泳大会2022の開催

印西オープン水泳大会は10月30日(日)印西温水センターにて開催予定です。

作業スケジュール： 6月末 市へ開催の申請
8月 開催案内を広報に掲載
9月 参加者募集開始、プログラムの作成
10月30日(日) 印西オープン水泳大会開催

(今後のコロナウイルス感染症の状況により変更する場合があります。)

2021年度印西市水泳協会 優秀選手の表彰

2020年度は大会が軒並み中止となる中、水泳連盟が苦勞して何とか開催に漕ぎつけた大会があり、練習不足にも関わらずそれぞれに優秀な成績を収めましたので表彰状を送り健闘を称えました。表彰者は下記のとおりです。(学年は2021年度当時)

- | | |
|---|----------------|
| ・ 川端 登真 (東海大浦安高等学校2年) 第51回千葉県高等学校選手権水泳競技大会 | 200M個人メドレー優勝、他 |
| ・ 武藤 淳平 (柏南高等学校2年) 第51回千葉県高等学校選手権水泳競技大会 | 200M平泳ぎ優勝、他 |
| ・ 小野 泰己 (印旛明誠高等学校2年) 第51回千葉県高等学校選手権水泳競技大会 | 50M平泳ぎ2位 |
| ・ 内田 百奏 (成田高校1年) 第51回千葉県短水路選手権水泳競技大会 | 400M自由形優勝、他 |
| ・ 高橋 俊 (木刈中学校3年) 第12回千葉県オープン水泳競技大会 | 50Mバタフライ3位 |
| ・ 加藤 真希 (印旛中学校2年) 令和3年度千葉県中学校水泳競技大会 | 100M自由形優勝、他 |
| ・ 中島 理沙 (西の原小学校6年) 第38回千葉県新年フェスティバル水泳競技大会 | 100M自由形優勝、他 |

第25回定例総会を開催 ～コロナの克服へ

4月24日（日）印西市市民活動支援センターにて、印西市水泳協会第25回定例総会を行う予定でしたが未だコロナの感染状況が高止まりを見せているため、安全のため書面審議にて実施致しました。2021年度の事業報告、決算及び22年度の事業計画、予算等が承認されました。

印西市水泳協会も創立後四半世紀を過ぎ、祝賀会でも行うべきところですが世の中未だそのような雰囲気になっていません。それでもコロナはかなり落ち着いてきたことは確かで、人類あるいは生物と云っていいかも知れませんが、ウィルスの助けによって発展してきたとの説もあるように、共生を模索すべきなのでしょう。皆さんの水泳協会としての活動も環境の変化に伴って変えていくことになるでしょう。

2022年度 日本マスターズ水泳 短水路大会の開催

マスターズ大会も徐々に復活し、漸く参加者も安心して競技が楽しめるようになってきました。4月16～17日に行われた習志野会場における大会取材してきました。場内を見ますと未だコロナの影響が色濃く残っている感じで、人数制限をしていることもあるでしょうが主催者はかなり気を遣っている感じでした。

しかしこの2年間の鬱憤を晴らすように好記録が続出しました。2日間で2個の世界記録と32個の日本記録が出るという盛況でした。30代男子で100mバタを52秒40で泳いだというのは全日本レベルで、マスターズ大会も随分変化してきた印象を受けました。



今後開催予定の日本マスターズ協会主催の競技会は下記のとおりです。

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------|
| 2022年度 日本マスターズ水泳 短水路大会 | 4月3日（日）～6月12日（日） |
| ジャンボウカップ マスターズスイムミート 2022 in FUKUOKA | 2022年6月4日（土）～ 6月5日（日） |
| 第37回日本マスターズ水泳選手権大会 | 2022年9月28日（水）～ 10月2日（日） |
| 2022年度日本マスターズ水泳長距離大会 | 2022年10月29日（土）～ 10月30日（日） |
| 第9回日本マスターズ水泳スプリント選手権 | 2022年11月26日（土）～ 11月27日（日） |

【編集後記】

評判の高いユヴァル・ノア・ハラリの「サピエンス全史」を読みましても、人類は様々な苦難を乗り越えて現在のように生物の頂点に立った訳ですが、その次の「ホモ・デウス」ではAIに負けていく人類が描かれ、やはりここはウィルスの助けを借りて生き延びていく知恵も必要かと思えます。コロナ後の世界に関する書籍が出回るようになっていますが模索しながらも新しい環境に適応していくことが必要でしょう。引き籠もってしまうのではなく前に進めて行きたいと思っています。(H. IWAKIRI)